

4年度 一般会計補正額 5億8100万円

3月補正 補正後予算総額 273億446万円

一般会計補正予算第12号・第13号

総務費

財産管理関係費

3307万円

旧青戸中学校の校舎の爆裂調査・外壁補修工事・屋上防水工事に要する経費。

民生費

温泉センター管理費

540万円

えい別府温泉センターの源泉地下水位の低下及び源泉水中ポンプの老朽化に伴う取り替えに要する経費。

委員から

問 年間の賃貸借料と現在の状況は。

答 契約相手は、中小企業地域振興事業協同組合で、賃貸借料は年間244万1470円である。

令和2年4月に立地協定を結び、10月に営業開始の予定であったが、コロナ禍の中で営業ができない状況が続き、本年2月に営業開始予定であったが、外壁が崩落している跡が見つかり、改修完了が見込まれる本年秋頃に営業開始となる。

委員から

問 源泉水中ポンプだけでなく、送水管等についても検査したのか。

答 送水管、ポンプ等について業者が検査した。今回、湯量を安定させるためポンプの取り替えと共に湯湯管も32メートル延長し、基幹制御盤もパワーアップしたものに変わる。

商工費

サイクルツーリズム推進事業費

▲73万円

事業執行に伴う不用見込額を減額する。



顕娃小トイレ

教育費

小学校施設管理費

1760万円

国の令和4年度学校施設環境改善事業費の追加採択に伴い、顕娃小学校の児童用トイレ及び職員用トイレの洋式化等改修工事に要する経費。

特別会計補正予算

国民健康保険事業

特定健診審査等事業費

▲374万円

事業執行に伴う不用見込額を減額する。

介護保険事業

地域自立生活支援事業費

▲600万円

高齢者等訪問給食サービスの実績見込みに伴い、不用額を減額する。

委員から

問 給食サービス事業者は、物価高騰により、負担も大きくなっているのではないか。

答 大変厳しい状況であると認識しており、今回、一般会計の新型コロナウイルス感染症対策事業費において、事業者への支援について予算計上している。

企業会計補正予算

水道事業

収益的支出

1621万円

電気料等の高騰に伴い、動力費等に不足が生じたため増額する経費。

公共下水道事業

収益的支出

150万円

電気料の高騰に伴い、動力費に不足が生じたため増額する経費。

農業集落排水事業

収益的支出

23万円

電気料の高騰に伴い、動力費に不足が生じたため増額する経費。

